

和魂洋才 世界のリーダーへ

## 武田薬品工業 ⑨

# 挑戦 する企業

### 改革の象徴

「従業員にとって働きやすい環境になり、会社の成功にもつながると確信する」。武田薬品工業社長のクリストフ・ウェバーは、7月に東京都中央区で実施した「武田グローバル本社」の開設式典で胸を張った。

グローバル本社は、武田が力を注いできた働き方改革の象徴と言える。

## 新本社で働き方改革加速

### 多様性尊重、創造力を喚起

「従業員にとって働きやすい環境になり、会社の成功にもつながると確信する」。武田薬品工業社長のクリストフ・ウェバーは、7月に東京都中央区で実施した「武田グローバル本社」の開設式典で胸を張った。

グローバル本社は、武田が力を注いできた働き方改革の象徴と言える。

オフィス内には天板の高さを変えられる机を導入。同じ体勢で働き続けることに伴う健康への弊害を考慮し、立った状態での仕事もできるようにした。個室ではない打ち合わせスペースも多数設

設置。LGBT（性的少数者）の中には、男女別トイレに入るのを苦痛に感じる人がいることを勘案した。

制度も改善

「ハコモノ」の整備だ

武田が多様性を重視し

行に行くなど、私用で短時間、業務を中断する働き方も認めた。「個人が成果を出しさえすれば、どんな働き方をしてもいい」（経営企画部長兼社長室長の福富康浩）。



の危機感もある。武田は4月入社の新卒採用が31人だった一方、2017年度1年間での中途入社者は150人になった。

ウェバーは社長に就任した14年時点で、「多様性は問題解決時に必要とする。」

（敬称略）

武田グローバル本社。社員同士が交流しやすい環境を追求する

なる創造性に大きなインパクトをもたらす、顧客ニーズの理解にも有利になる